

Thromboelastometric evaluation of coagulation profiles of cold-stored autologous whole blood : A prospective observational study

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岩田, 志保子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032652

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 3064 号	氏 名	岩田 志保子
審 査 委 員 会	主 査 教 授	田中 淳司	
論文審査の要旨 (400 字以内)			
<p>岩田志保子氏は術前の自己全血貯血の凝固機能について検討した。50 名の心臓血管外科手術を受ける成人患者を対象としフィブリノゲン濃度と rotational thromboelastometry (ROTEM) を測定した。平均フィブリノゲン濃度は 2.3 ± 0.6 g/L であり、FIBTEM (ROTEM のフィブリノゲン重合能評価試験) では、凝固時間から 10 分後の振幅 (A10) と 20 分後の振幅 (A20)、最大血餅硬度 (MCF) は夫々 10.8 ± 3.8 mm、12.2 ± 4.2 mm、13.1 ± 4.7 mm であった。フィブリノゲン濃度は、A10、A20、FIBTEM—MCF と強い相関を示した。これらの結果より、冷蔵保存の自己全血においてフィブリノゲンは基準値内の量を維持し、かつフィブリン重合を起こす事が可能であると示唆された。</p> <p>またこの研究に関して直接質疑を行ったところ、氏は適切に説明解説を行う事ができた。</p>			
<p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			